

特集

脳を刺激する

だれしも簡単にテストの点を上げたり、足を速くできたりすればいいのにと考えたことがあるかもしれません。こうした能力やこころの有り様を望ましい方向に変化させることは、心理学の大きな目標の一つです。心理学では、おかれている環境や考え方を変えることで行動を制御しようと試みてきましたが、脳の活動を直接的に調整することも一つのアプローチといえます。近年では、つよい痛みを感じることもなしに、電気などの外部刺激を用いて脳内の神経活動をより活性化させたり、あるいは逆に抑制できることがわかってきました。これらの現象を利用して、健康な人や精神・神経疾患の患者さんの認知や運動のパフォーマンスを向上させる研究が行われています。さらに、この脳刺激を利用して、脳とこころの関係を調べる研究も活発になっています。

本特集では、身体を傷つけない脳刺激をもちいた研究が現在どこまで進んでいるのか、様々な現象を対象にしている先生方に知見を紹介いただき、その可能性を探っていきます。

(小野田慶一)